

2025年4月25日

**ONE製作協力の絵本「ジャン＝ピエール 7つの海をゆく」を長崎市へ寄贈  
子どもたちの海への関心を育む**

＜2025年4月22日、長崎＞－オーシャン ネットワーク エクスプレス（ONE）は長崎市に対し、ONEが製作協力した絵本「ジャン＝ピエール 7つの海をゆく」100部を寄贈しました。この絵本は長崎市を通じ、市内のすべての小学校、また図書館や幼稚園・保育園に寄贈されます。22日に長崎市で開催された贈呈式では、ONEの岩井泰樹Global Chief Officerから長崎市の鈴木史朗市長に対し、目録が手渡されました。



岩井Global Chief Officer（写真左）と長崎市の鈴木市長

2月に文響社より発行された絵本「ジャン＝ピエール 7つの海をゆく」は、マダガスカル出身のカカオ豆、ジャン＝ピエールが「世界一のチョコレートになりたい!」という夢を抱き、コンテナ船に乗って世界を巡る物語です。ONEは、未来を担う子どもたちに少しでも海運業や物流に興味を持ってほしい、また子供たちがコンテナを街で見かけた際に、それがどこから来たのだろうと広い世界に思いを巡らせるきっかけになってほしいという願いを込めて、絵本製作に協力しました。

寄贈先の長崎市は、江戸時代には貿易の要所として歴史を刻んだ、海運業との親和性が高い街です。ONEは2023年3月に第1回コンテナ海運サミットを長崎市で開催して以来、長崎市とはさまざまな形で深い協力関係を築いてまいりました。また同年12月には、十八親和銀行やアンカー・シップ・パートナーズと共同で新会社「ONE DEJIMA」（遠山直人社長）を設立。ONE DEJIMAは「地域発のグローバルKPO（Knowledge Process Outsourcing）会社」として、ONEの現地法人・代理店管理や市場調査、人事サポートなどの業務を担っています。

贈呈式では、岩井Global Chief Officerより絵本と目録をお渡しし、絵本を作った経緯やONEでの活用事例を紹介。鈴木市長からは「身の回りに当たり前のようにあるものがどのようにして日本に届いているのかをイメージできる、とても良い本だった。長崎は海によって発展した街。海が自分たちの生活とどう関係しているのかを知るということは、長崎自体を知ることにも繋がる。そういった意味でも、小学校や幼稚園などで、様々な方法で活用していきたい」とのお言葉をいただきました。



ONEは今後もさまざまな活動を通じ、コンテナ海運やそこで働く人々の役割・魅力を発信する活動を続けてまいります。

## 書籍情報

書名 : ジャン＝ピエール7つの海をゆく  
作 : キリーロバ・ナージャ  
定価 : 1,980円 (本体1,800円+税)  
発行 : 文響社

## オーシャン ネットワーク エクスプレス (ONE) について

オーシャン ネットワーク エクスプレス (ONE) は、世界をリードするコンテナ海運会社の一つであり、シンガポールに本社を置いています。船体規模は260隻以上、運航キャパシティは200万TEUを超え、その広範なグローバルネットワークを通じて120カ国以上を繋ぐ信頼性の高い定期コンテナ輸送サービスを提供しています。

詳細については、詳しくは[www.one-line.com](http://www.one-line.com)をご覧ください。

## 本件に関するお問い合わせ先

オーシャン ネットワーク エクスプレス ジャパン株式会社  
管理部広報課 ([JP.GACOMPR.PR@one-line.com](mailto:JP.GACOMPR.PR@one-line.com))